

学科としての教員養成の目標、計画、教育の質向上の取り組み

経済学部 国際経済学科（高一種免（公民））

① 教員養成の目標

我が国の政治・経済・社会に極めて重大なかかわりをもつ世界のグローバル化が、近年、急速に進展している。一方で、制度・文化の異なる国家・国家群、民族の間で、国際紛争も激しさを増している。

国際経済学科の目標は、基本的な経済理論や実際の経済政策などの知識の修得の上に、このグローバル化と反グローバル化の、まさに今世界で起こっている国際間の諸問題とその背景をよく理解し、さらにその将来を展望する基礎的な力を身に着けた、中学社会と高校公民の教員を養成することにある。

② 教員養成の計画

上記の目標達成のため、全学共通の一般教育、経済学部の専門基礎教育、国際経済学関連の専門教育でカリキュラムを構成するが、具体的には、中学社会と高校公民の教員志望者に対し、それぞれ次のようなカリキュラム編成で教員養成を行う。

中学社会の免許取得希望者に対しては、日本史、世界史、人文地理、自然地理、法学概論、社会学などの一般的科目と、ミクロ経済学、マクロ経済学など経済学専門基礎科目を必修科目として、また、民法、企業法、国際政治学、日本経済論、アメリカ経済論、EU経済論、中国経済論、アジア太平洋経済論、国際貿易論、国際金融論などを選択科目としてカリキュラムを編成している。

高校公民免許取得希望者に対しては、法学概論、国際政治学、社会学などの一般的科目と、ミクロ経済学、マクロ経済学、国際貿易論、国際金融論など経済学専門科目を必修科目として、また、民法、企業法、日本の政治・経済や、日本経済論、中国経済論、アメリカ経済論、EU経済論、アジア太平洋経済論などを選択科目としてカリキュラムを編成している。

③ 教員養成教育の質向上の取り組み

全学共通の取り組みに国際経済学科も参加している。すなわち、教職課程部会の構成員として、教職指導の内容や方法の討議を行っている。また、経済学部の3学科が連携して教員育成上の諸問題を検討するための教職委員会を設置している。学科の教職委員が免許希望者に対し個別指導を実施したり、教育実習校を訪問し現地指導も行っている。

希望者にはアジアを中心に海外研修旅行を毎年実施し、グローバルな問題や国際的な問題の実践的な理解を深めさせている。また、福山大学宮地茂記念館内に併設された孔子学院で、中国語を修得できる環境が整備されている。
